

心に残る文化財子ども塾 松江市立八雲小学校

1. 活動の概要

7月2日(金)、松江市立八雲小学校で『心に残る文化財子ども塾』を開催しました。今回は校区内の古墳見学が主な内容となっているので、はじめに校区内の遺跡について埋蔵文化財調査センターの職員からお話をしました。それから事前に配布していた校内の遺跡地図にいくつの遺跡が表示されているかクイズを出題しました。答え合わせをすると、児童の皆さんはその数の多さにびっくりしたり、感心したりしていました。

次に、校区内の雨乞山古墳と池ノ尻古墳の見学に歩いて向かいました。雨乞山古墳では石棺式石室に交代で入りその大きさをメジャーで測ったり、構造について説明を聞いたりしました。また、池ノ尻古墳では古墳の話と合わせ、過去に調査された前田遺跡についても話を聞きました。

そして学校に帰り、教室で石棺式石室のペーパークラフトづくりに挑戦しました。取りかかると、意外と難しく、苦戦する子もいましたが、先生や埋蔵文化財調査センターの職員のお手伝いでそれぞれペーパークラフトづくりを進めました。

2. 活動の様子

1)校区内の遺跡について知る



「八雲小校区にはいくつ遺跡があるでしょうか？」

2)古墳見学



雨乞山古墳の石棺石室



石室の中で説明を聞いて計測をしました



池ノ尻古墳の見学

3)ペーパークラフトづくり



意外と難しかったです！

3. 子ども塾を終えて

1)児童の皆さんから…

- ・どうやって石室の石を運んだのか知りたい。
- ・古墳の中に入れたのがうれしかった。
- ・古墳は有力な人の墓だとわかって、その古墳がたくさんあるから昔の八雲は栄えていたんだなと思った。
- ・岩が1枚だったのが昔の人ってすごいなあと思いました。

2)担任の先生から…

- 児童は遺跡見学をしたことがなく、貴重な体験になった。地域の遺跡の多さやその貴重さについて知り、誇りに思う児童も多かった。
- ペーパークラフトは古墳の構造を知ることができ、効果的だった。今後 VR 技術が応用されれば理解に実感が伴うと思う。
- 教材の提供や事前の打ち合わせや現地での説明を綿密にいただき感謝している。

3)埋文センターから

事前に資料を配付していましたので、事前の説明も興味をもって聞いてもらいました。校区内の遺跡数の多さは普段意識できない事なのでやはり驚きがあったようです。

古墳見学では暑さが心配でしたが全員歩き通してくれて良かったです。実際に雨乞山古墳の石棺式石室に入れたのは貴重な体験となったのではないのでしょうか。

ペーパークラフト作りでは、意外と組み立てて行くのが難しく、苦戦する児童も多かったのですが、ほとんどが頑張って時間内に完成することができたようです。

古墳見学にペーパークラフトと盛りだくさんでしたが、今回の子ども塾がみなさんにとって地域の歴史に興味を持つきっかけとなれば幸いです。